

変動する大地との共生

Coexistence between human and the ever-changing earth

岡田 弘 [1]

Hiromu Okada[1]

[1] 洞爺湖有珠山ジオパーク

[1] Toya Caldera and Usu Volcano Geopark

洞爺湖・有珠山ジオパークは、10万年スケールの洞爺湖から1~2万年の有珠山、そして江戸時代以降の9回の火山活動の歴史をアクセスの良い極めて狭い地域で見ることができるのが特徴である。そして、その火山活動は現在も進行しており、今後も変動していく様子を見ることができ、世界でも例のないユニークなジオパークである。さらに、ここでは変動する大地と人間との共生の歴史を学ぶことができる。

これまでこうした資源を活用して、ジオツーリズムなどを行ってきており、日本国内でも有数の観光地となった。

また、洞爺湖・有珠山ジオパークは、豊かな森と水環境に育まれた貴重な動植物が豊富に存在する。これらは、火山活動により様々な影響を受けながら生き続け、生命の変化、復活を見せてくれる。これらの貴重な様子を保全し学び、後世に残していくことが必要である。

私たちは2000年以降、地域住民、行政、学識者が連携を深め、地元自治体によりエコミュージアムの取組を進めている。さらに関係する機関が連携し、共同で取組むことにより、持続可能な地域づくりを行うために、幅の広い活動を行っている。そしてこれらの活動は、必ず起こる次の噴火への備えともなるのである。

世界ジオパークネットワークの理念は私たちの活動にまさに即した理念であり、地学、防災教育、ジオツーリズム、持続可能な開発をすすめるためにG G Nの一員となり、さまざまな情報やアイデアを入手、交換していきたいと考える。

G G Nへの加盟は地域住民がこれまでの活動に自信を持ち、日本の中においてこの地域の活動が客観的に認められることになると考える。